

「国語」・「算数」の力と学習の様子

～『R6 全国学力・学習状況調査』から～

今年度は、国語、算数の調査が行われました。どの教科からも、学校での授業の工夫や家庭での学習の様子がうかがえました。

🌸は良いところ ➡は伸ばしたいところ

【国語】

- ① 学習指導要領の内容における結果 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」の6内容からの出題でした。

🌸…多くの内容で全国の平均正答率を上回っています。

- ② 特に正答率の高かった問題

🌸…「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、「文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる」問題

では、全国及び県の平均を超える高い正答率でした。主語と述語との関係について理解できています。

🌸…「話すこと・聞くこと」において、「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる」問題では、全国及び県の平均を超える高い正答率でした。自分の目的や意図、聞き手の求めていることに応じて、集めた材料をどのように整理すればよいかを考えることができます。

- ③ 課題

➡…「情報の扱い方に関する事項」において、「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる」問題に課題があります。図で示すことが自分の考えを明確にしたり、思考を整理したりするのに有効であることを理解し、使うことができるようにすることが大切です。

【国語の平均正答率】

全国、県、本市の比較位置

◆福井県

●越前市

■全国 67.7

全国の平均を上回り、
県とほぼ同じでした。

【算数】

- ① 学習指導要領の領域における結果 「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」の4領域からの出題でした(今回は、「測定」領域からの出題はありませんでした)。

🌸…すべての領域において、全国の平均正答率を上回っています。

特に「数と計算」領域では、全国平均を大きく上回っています。

➡…「図形」領域において、③のような課題が見られました。

- ② 特に正答率の高かった問題

🌸…「数と計算」領域の「数量の関係を捉え、式に表す」問題がよくでき

ています。数量の関係がつかみにくい問題において、問題の文脈に沿って図などに表すことを通して数量の関係を捉える力が身についています。

🌸…「数と計算」領域の「除数が小数である場合の除法の計算」に関する問題がよくできています。除法の性質や整数の場合の計算の仕方を理解し、活用することができます。

- ③ 課題

➡…「図形」領域において、「角柱の底面や側面に着目し、角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて説明する」問題に課題があります。いくつかの種類の角柱を観察し分類する活動を通して、図形を構成する要素に着目し、角柱を分類したり、底面や側面の形、頂点の辺や面の数について整理したりするなど、実感を伴って理解できる活動が大切です。

【算数の平均正答率】

全国、県、本市の比較位置

◆福井県

●越前市

■全国 63.4

全国の平均を上回り、
県とほぼ同じでした。